

4. 実証研究の具体的な実施内容及び実施方法等

<協議会の設置について>

- 勝沼中学校と大和中学校の統合が、地域の理解・支援を得て円滑に実現できるよう、統合中学校区の5つの小学校に設置される学校運営協議会とも連携を推進する。そのために平成30年度に組織された「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」での共通理解を図り、魅力的な地域とともにある中学校を築いていこうとする気運を高める。
- 事務局は、今年度も平成30年4月にコミュニティ・スクールとなった菱山小学校に置く。
- 「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員」は、市教育委員会職員、市内小中学校長、PTA代表、区長代表、地域コーディネーター、学校アドバイザー等で構成する。
- 学校アドバイザーは、有識者として、大学教授などを充てる。
- 令和2年度には、甲州市内の全ての小・中学校がコミュニティ・スクールなることを目指しており、その実現のための組織として「甲州市コミュニティ・スクール推進委員会」を立ち上げる。勝沼・大和地区が甲州市内のパイオニアとなり、本研究事業の成果を「甲州市コミュニティ・スクール推進委員会」で還元することで、甲州市内の全ての小・中学校において学校運営協議会が円滑に設置できるようにする。
- 「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」で協議された内容を、各校の学校運営協議会で紹介し、7校が同じ方向を向きながら、「地域と共にある学校づくり」を推進していく。

<プログラムの策定について>

- 勝沼中学校と大和中学校の統合が、地域の理解・支援を得て円滑に実現できるよう、統合する中学校区の5つの小学校の学校運営協議会が果たす役割と、5つの小学校の学校運営協議会を統括する運営体制の構築に関するモデルプランを策定する。特に、学校運営協議会に関する基本方針や人選、会議の開催回数等も検討課題として扱う。
- 5つの小学校から児童が統合校に入学するため、各小学校からも「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」に所属し、連携していく。事務局である菱山小学校がリーダーとなり、勝沼・大和地区の小学校5校で歩調を合わせ、連携を協議する。そしてボトムアップ的に中学校へつなげていき、小中の連携を進めるとともに両地区をまとめるための実践研究を行う。
- 令和2年度に甲州市内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとなるよう、本研究事業の成果をどのように生かしていくか、その手法について実践研究を行う。

令和元年度の実施計画

- 5月中 推進委員の選考（各校）
- 7月1日 事務局打ち合わせ
- 7月8日 第1回「甲州市コミュニティ・スクール推進委員会」
第1回「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」
- 9月中 保護者・地域住民等へのアンケートの作成
- 10月下旬～「学校だより」等でコミュニティ・スクールについて周知
- 10月15日 第2回「甲州市コミュニティ・スクール推進委員会」
第2回「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」
- 11月中旬 アンケート配布・実施（12月上旬 回収）
- 12月1日 甲州市の「広報」（12月号）に掲載
- 1月10日 第3回「甲州市コミュニティ・スクール推進委員会」
第3回「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」
・アンケートの集計結果
・今年度のまとめと来年度に向けて
- 2月上旬 事業完了報告書、成果物の作成
- 3月14日 委託事業完了報告書の提出期限